



<海環境保全と海獣の保護・共存>

札幌エルプラザ2階で「海獣トドを守るという願い」と題して、積丹半島をフィールドに海獣の研究をし、ダイビングショップ・ゼムハウスを営んでいる藤田尚夫氏の叫びを講演会の形で応援しています。藤田氏は40年にわたり、北海道遺産となっている積丹半島のみならず、道内外はもちろん、海外の海にも潜水経験が豊富。地球の環境を海中から観察し保全してきた第一人者です。特に海獣保護の先頭に立つ。学術面からの研究も京都大学和田一雄名誉教授や北海道大学、酪農大学の研究者と連携して進めています。今日は藤田氏の研究や活動からほとぼしる「トドを守りたい」という気概に参加者もしっかり受け止めようと会場はいつにない熱気に包まれていました。

講師 藤田 尚夫氏
ダイビングショップ・Zem House オーナー

講演は「50年前には私たちが海に捨てたものや海から獲ったもののせいで海が破壊されるなんて想像しませんでした」と話しはじめ、トドやアザラシなどの海獣の生息する海中でダイビングしながら撮影した映像を交えて、海獣の生態系や、個体数の減少の理由、また、人間との魚の取り合いが海獣による被害として駆除される理由となる。人間と海獣が共存できる環境に早急に変えないと環境破壊が止まらなると締めくくりました。



パネルディスカッションでは当会の会員・石川清氏が北海道を取り巻く海洋ゴミの現状を説明しました。会場からの質問に藤田氏と石川氏が答え、漁業従事者と自治体、国の対策の早急さが求められました。



海浜美化フォーラムの歴史

2003年より毎年1回、計16回開催。述べ1000人が参加し、環境について学んできました。

- 第10回(2012.2.18) 50名 「漁場環境の保全について」 石川清氏、「海、知られざる世界」 藤田尚夫氏
- 第11回(2013.2.23) 45名 「森・川・海のつながりー劣化と復元の歴史」 中村 太士氏
- 第12回(2014.2.22) 40名 「流木は どんなもの？」 齋藤 直人氏
- 第13回(2015.2.28) 45名 「海は広いな大きいな…は今」 小林 三樹氏
- 第14回(2016.2.13) 40名 「豊平川あってのまち・札幌」 小林 三樹氏
- 第15回(2017.2.18) 50名 「海獣トドを守るという願い」 藤田 尚夫氏

